

## 広陵町全体で 307 世帯が参加 1094 kg-CO<sub>2</sub> 削減しました

2025 年度エコチャレンジシートを活用した温室効果ガス削減効果

2026 年 2 月 NPO 法人奈良ストップ温暖化の会 NASO  
(奈良県地球温暖化防止活動推進センター)

4・5 年生を対象とした地球温暖化防止の環境学習後、各家庭で 7 日間 6 項目のエコチャレンジに取り組み、取り組み状況を「できた：青色、半分できた：黄色、できなかった：赤色」で色ぬりしてもらったものを数値化し、各家庭の取り組みによる CO<sub>2</sub> 排出量の削減効果として集計しました。

### ◆プール 1.8 個分の広さの太陽光パネルで発電したのと同じ効果

参加世帯数は 5 校 307 世帯、7 日間あたりの CO<sub>2</sub> 削減量は 1094kg-CO<sub>2</sub> となりました。

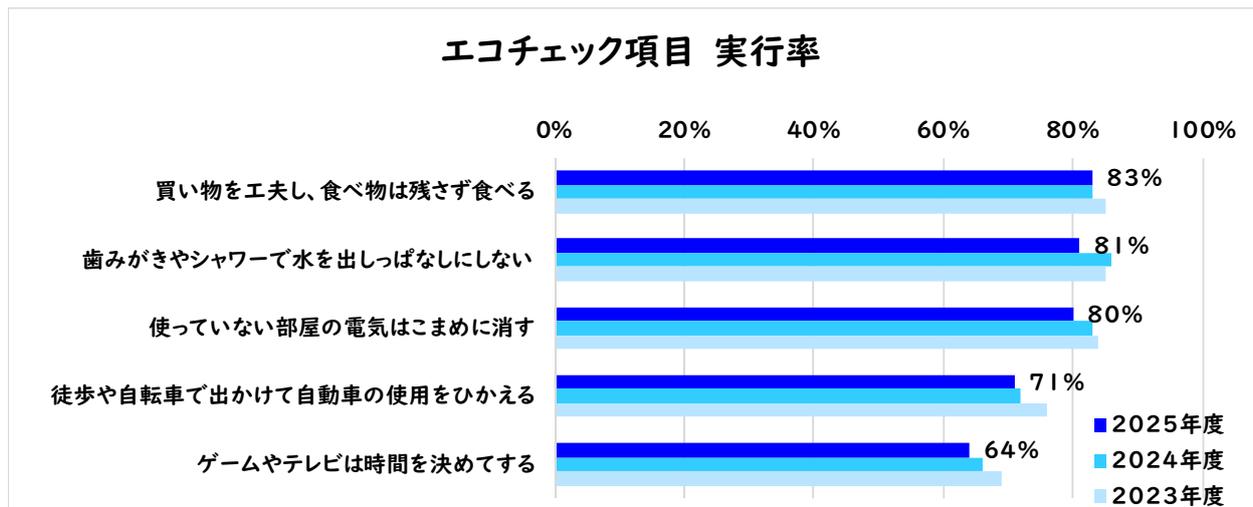
これは一般的な学校のプール (25m×15m) 1.8 個分の広さの太陽光パネル (約 140kW) を設置し発電することで、家で使う電気からの CO<sub>2</sub> 排出量を減らすのと同じ効果となります。設置した場合には約 2300 万円かかるので、経済的にも効果のある取り組みといえます。

1 人ひとりの力は小さくても、集まると大きな力となります。これらの取り組みをライフスタイルに組み込み、家族とともに継続することで地球温暖化の進行を止めることにつながります。

### ◆上位 3 つの取り組みは、10 人中 8 人以上が行動できた

各取組項目がどの程度実行されたかについて、実行率を算出しました。

実行率の最も高かった項目は「買い物は工夫し、食べ物は残さず食べる」(83%)、「歯磨きやシャワーで水を出しっぱなしにしない」(81%)、「使っていない部屋の電気を消す」(80%) が同程度で、上位 3 項目は 80% 以上の取り組みができました。



### ◆温室効果ガス削減量は「自動車の使用を控える」がトップ

次に、取り組み項目別の削減量を算出しました。エコチェックシートで取り組んだ項目と、

実行された場合の1家庭1日あたりの削減量のめやすは以下のとおりです。削減量の集計に際しては、「できた」場合は表の削減量、「半分できた」場合は表の削減量の1/2量としました。

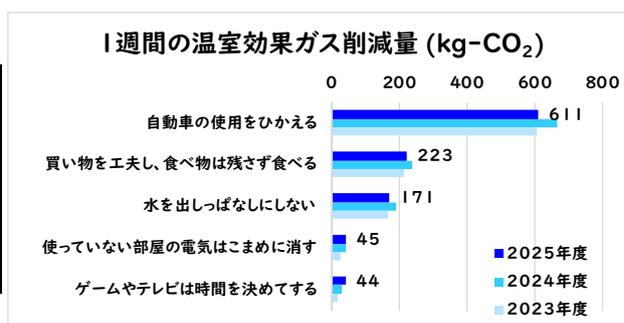
■エコチェックシートの取り組み内容と削減量のめやす

項目	CO <sub>2</sub> 削減量のめやす (g-CO <sub>2</sub> /日 世帯あたり)
使っていない部屋の電気を消す	26
テレビは見たい番組だけ	33
買い物を工夫し、食べ物は残さず食べる	125
歯磨きやシャワーで水を出しっぱなしにしない	98
自動車の利用を控える	400

取り組み実施期間である7日間あたりのCO<sub>2</sub>削減量は、「自動車の使用を控える」が最も多く、611kg-CO<sub>2</sub>であり、全体の約56%を占めていました。自動車からの排出量は1回あたりの削減量が大きいことから、削減効果が得られやすいことがわかります。削減効果の大きな項目に積極的に取り組むとともに、削減量は小さくても意識を高めることができました。

■学校別参加世帯数及びCO<sub>2</sub>削減量

	学校名	参加世帯数	温室効果ガス削減量 (kgCO <sub>2</sub> /7日間)
1	広陵東小学校	45	170
2	広陵西小学校	107	350
3	広陵北小学校	44	159
4	真美ヶ丘第一小学校	64	246
5	真美ヶ丘第二小学校	47	169
	合計	307	1094



参加した家庭の多くが8割程度以上の取組に実行できたことから、子どもへの教育を通じた各家庭への温暖化防止普及啓発活動は非常に効果的であり、継続の意義は高いと考えられました。

◆取り組みの感想など

<自分で考えた取組の一例>

6項目中1項目は、自分で取り組みを考えて実践しました。

- 近くに行くとき、車で行かずに歩きか自転車で行く
- エアコンをつけたらドアを閉める
- エアコンの温度を上げてせんぶうきを回す
- テレビを見るのを少なくして本をよむこと
- 使っていない部屋の電気を消す
- 昼には電気をつけない
- ゴミをふやさない
- ティッシュの使いすぎに気をつける
- 食べ物をそまつにしないように期限をみて食べる
- 冷蔵庫は素早く開け閉めする

- 外であまり飲み物を買わない
- 蛇口は 20 秒以内にとめる
- トイレを流すときに「小」を使う
- 早ね早起き
- 物をだいじにつかう
- 外であそぶ

#### <取り組んでみた感想（抜粋）>

- 今まで、分別をそんなに気にしてなかったけど、すこし気をつけることでプラスチックの分別が出来るようになりました。分別がわからないときは、お母さんにきいて分別ができました。すこしでもおんだんかがましになったらいいと思いました。
- いつもだとごみがふえちゃうけど、ふやさないようにがんばった。
- 自転車で近くに行くのは、できた。
- ゲームの時間が長すぎたことに気づいたので時間を短くしたいです。水はムダにせず大切に使いました。
- 家で電気の消し忘れを見つけたら、自分から消すように気をつけました。
- 今までこんなことを気をつけてなかったけど、次からはしっかりする。
- CO2 のさくげんはすごくむずかしいんだなと知った。せいかつですごく CO2 が出ていると知った。
- CO2 をふやすのはかん単だけど、エコして CO2 をへらすのはたいへんだとわかった。
- お母さんにでんきけしてえらいねと言われてうれしかった。
- とてもおもしろかった。自分でもできていないところ、できているところがあるとしてよかった。
- さいしょの方は赤が多かったけど、と中から水は何リットルまでなど工夫していたら自然と青がふえた。このように工夫するだけで楽しくできるから工夫するべきだと思った。
- こんなことをするだけで CO2 がへらせてとてもうれしいです。
- いしきするとかんたんにできた。だからみんながいしきすると CO2 がへらせると思った。
- こんなに身近なことでもできるのなら、少しずつみんなに伝え、少しでもできると CO2 が減るのなら、かん単なので、もっといろんな人にもやってほしいと感じた。
- これが終わってもつづけるとあつさもふせげるんだなと思いました。
- しげんを大切にするとということが分かり、たのしかった。
- 自分で考えた取り組みができたのがうれしかったです。
- どれだけ CO2 がへらせたか、けっかが楽しみです。
- かいたほかにもできることがいっぱいあって、家ぞくでいっぱいとりくめてよかった。

#### <保護者より（抜粋）>

- 1 週間子どもは真面目に取り組み、私たちにエコの大切さを説明してくれました。子どもたちの未来のために大人たちがしっかりと考えなければいけないですね。
- 家族で何がエコにつながるか考えながら取り組むことで楽しくエコチャレンジできました。
- チェックシートに色をぬってできたのかどうかチェックすると、できていないこともあるのがわかりやすかった
- 1 週間の色ぬりを終えて、改めて見てみると、近くへ行く時もほとんど車を使用しているなど言うことに気付きました。

- ゲームやテレビは、アラームを鳴らして（時間を決めて）取り組んでいました。これからも続けてほしいです。
- ビニール袋の使用を減らす為に、お買い物のお手伝いの時にはエコバッグや買い物かごを自ら用意してくれました。
- 節水を心がけてよくがんばりました。自分だけではなくて、弟たちにも節水を心がけるように伝えていてすばらしかったです。これからも頑張ろうね。
- 学校で学んだことを通して、プラマークを意識して分別するようになりました。
- 出前授業を受けてから、積極的に節電に取り組んでいました。娘が使っていない部屋の電気を何度も消していて、意外と家庭でつけっぱなしになってしまっていることに気づかされました。親も反省です…。これから学んだことを活かしてエコな暮らしを心がけたいです。
- ゴミの分別について話しあったり、でかける際は歩いたり、自転車を使うような意識づけができたのでよかったです。日常の小さなことへの気づきと積み重ねの大切さを学べたと思います。
- 少しの意識で行動が変わるということが分かったので、これからも環境について自分ごととして考えて、行動していけたらいいと思いました。
- 自分たちに関係することなんだと、しっかりと受けとめ、地球のために出来ることを、と取り組む姿をそばで見ることができました。“相手をおもいやる心”を育てる良い機会になったと思います。ありがとうございました。
- 普段、家で口うるさく言ってもなかなかしてくれませんが、このように学校でその行動にはどういう意味があり、環境にどう影響があるか学んでくることで、自分で進んで行動してくれるようになりました。子どもから教えられることもあり、家族で取り組むことで、明るい未来へつながっていければいいなと思いました。
- 改めて親子でこういう話をするすることで、日頃あまり気にしていなかった事や、子どもに声掛けが出来ていなかった事等に気付かされました。子どもだけじゃなく親子揃ってあたり前に取り組めるようになる様、日々意識していきたいと思う機会になりました。
- 一人で取り組むよりも、家族で共有し、みんなで意識すると、よりエコにつながるということに気づけたのが良かった。これからは“みんなで”気をつけていこうね。
- なぜこの取り組みをしないといけないのか？「自分の生きる環境を守るため」ということを知ってもらった1つの機会になりました。引き続き、実施された方が良くと思います。
- エコチャレンジを通して、普段何気なくやっているささいな行動が地球温暖化防止という大きなテーマにつながるという新たな発見があり、子ども自身が自分にも地球が守れる、自分も地球を守る一員であるという意識がめばえたようです。日常の中で、地球のこと、未来のことを考えるよいきっかけになりました。
- 子どもが自らエコチャレンジの内容を考えて実践し、我々大人にも注意をうながしていました。今回は一週間の取り組みでしたが、それで終わりにせず今後も継続してチャレンジしていきたいと思います。
- 地球温暖化対策は一部の人だけ取り組んでいても意味がなく、全員で取り組まないといけない課題と分かっているながらも、そこまで意識していませんでした。昨今の異常気象や自然災害の増加など、どこか人ごとのように考えており、今回、娘が取り組んでいるのを見ていると私自身も日常生活の中で何が出来るか改めて身近な事から行動していきたいと思うようになりました。最後に、この紙 1 枚でたくさん考えさせられました。このような活動はとても素晴らしい事だと思います。これからもこのような活動をし続けていただき、1人でも多くの方がエネルギーについて考える社会になって欲しいと思いました。